

## 公共施設の利活用に係わるサウンディング型市場調査実施結果概要について

### 1 調査実施概要

令和3年10月12日(火)から11月30日(火)まで受付を行い、申し込みのあった3事業者から以下のとおり対話により提案をいただきました。

2 調査対象施設 : 旧富沢図書館

3 対話実施日 : A事業者 令和3年11月10日(水)  
B事業者 令和3年11月19日(金)  
C事業者 令和3年12月8日(水)

### 4 提案の概要

#### A事業者

- ・気軽に地域の人が集える場、子ども・母親・お年寄りが集うには最適な場所とする。  
(カフェ・子ども食堂)
- ・惣菜等を作って移動販売する拠点として利用する。
- ・障害者が活躍できる場所としてカフェや食堂にする。
- ・共生型サービスの提供の拠点施設とする。

#### B事業者

- ・観光拠点施設として、地域住民、観光者、移住潜在層の交流の場、多目的コミュニティ施設を創造する。
- ・企業誘致も含めたワーケーション施設とする。
- ・隣接する「道の駅」との差別化を図り、軽食の提供及びカフェを併設させ、地域の人達が自然と談話、交流できる場にする。
- ・簡易宿泊施設機能を備えつつ「サウナ」の整備をし、「ととのう」空間を創出する。
- ・昭和初期の古い木造施設が、まさに「甦る施設」として潜在価値を高める。  
(単なるリノベーションではなく、本当の意味での再生)

#### C事業者

- ・ランドマークとして恒久的に地域の拠点とする。
- ・観光情報提供のインフォメーション機能を備える。
- ・町民のコミュニティの場とする。(喫茶、南部町産のお茶・たけのこ・蜂蜜)
- ・子供たちの放課後学習として、教師退職者・有資格者が指導者となり、英語教室などを開設する。(レンタルスペース)
- ・参加型、体験型カルチャースペースとする。
- ・ギャラリー、アトスペースとする。
- ・販売スペースとする。(ハンドメイド、特産品、不要農機具の譲渡会 など)

## 5 事業者からの意見等

### A事業者

- ・保健所等の扱いは現時点では未定である。
- ・耐震改修等が不安材料である。
- ・県の障害者福祉施設整備の助成制度等を活用して改修ができればと考えている。

### B事業者

- ・修繕等には徹底した国産、町産材の活用をしていきたい。
- ・改修工事（耐震補強、雨漏り補強、不適格箇所のクリア、リノベーション）に係わる費用の調達等、「地方創生交付金」などの補助金、金融機関からの融資も検討している。

### C事業者

- ・運営者の拠出とクラウドファンディングでの資金調達も考えている。
- ・国、県の助成金が活用できるなら考えたい。

## 6 サウンディング結果のまとめと今後の方向性

今回のサウンディング調査により、民間活用による可能性があることが確認できました。また、各事業者からは、「3事業者共同での実施も考えられる。」との提案もされていました。今後は、今回の提案を踏まえ、町として「解体」「利活用」の方向性を再確認し、活用方法に関して決定していきます。

## 7 問合せ先

409-2192

山梨県南巨摩郡南部町福士28505-2

南部町役場本庁舎 企画課 0556-66-3401

FAX 66-2190

Eメール [kikaku@town.nanbu.yamanashi.jp](mailto:kikaku@town.nanbu.yamanashi.jp)